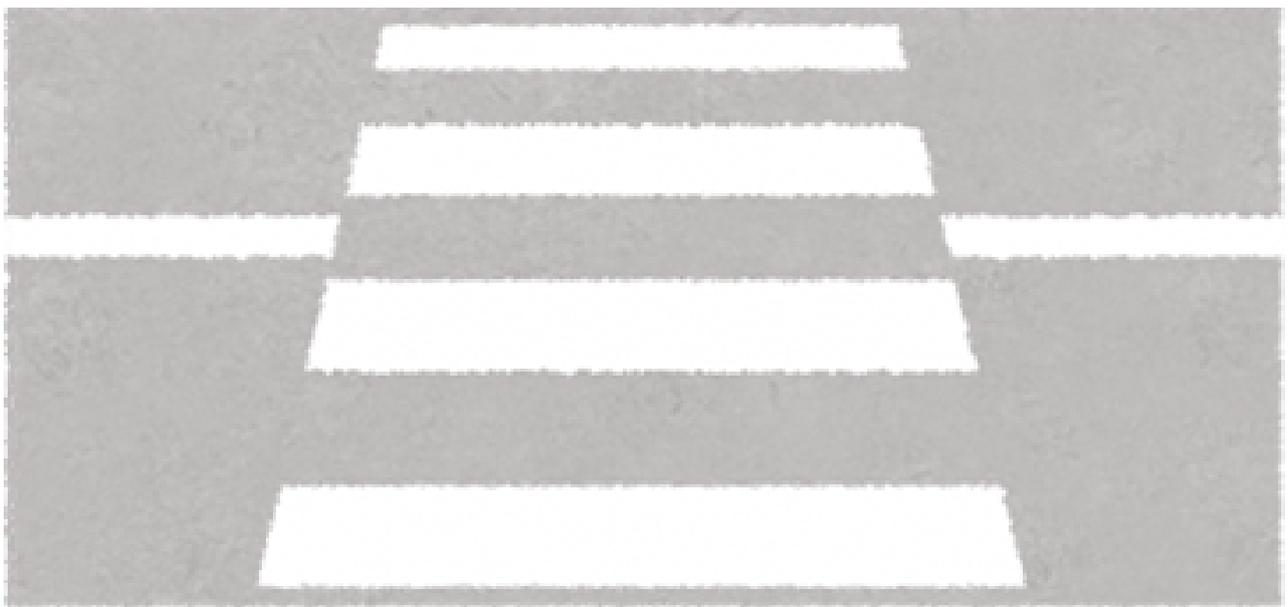
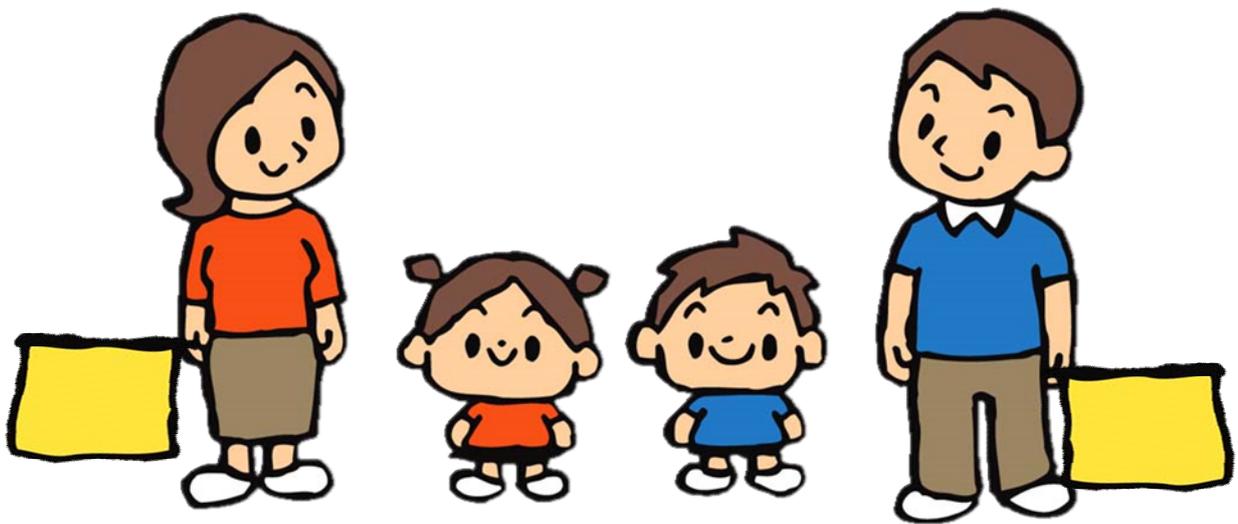


登下校時の誘導の手引き



川西市・川西警察署

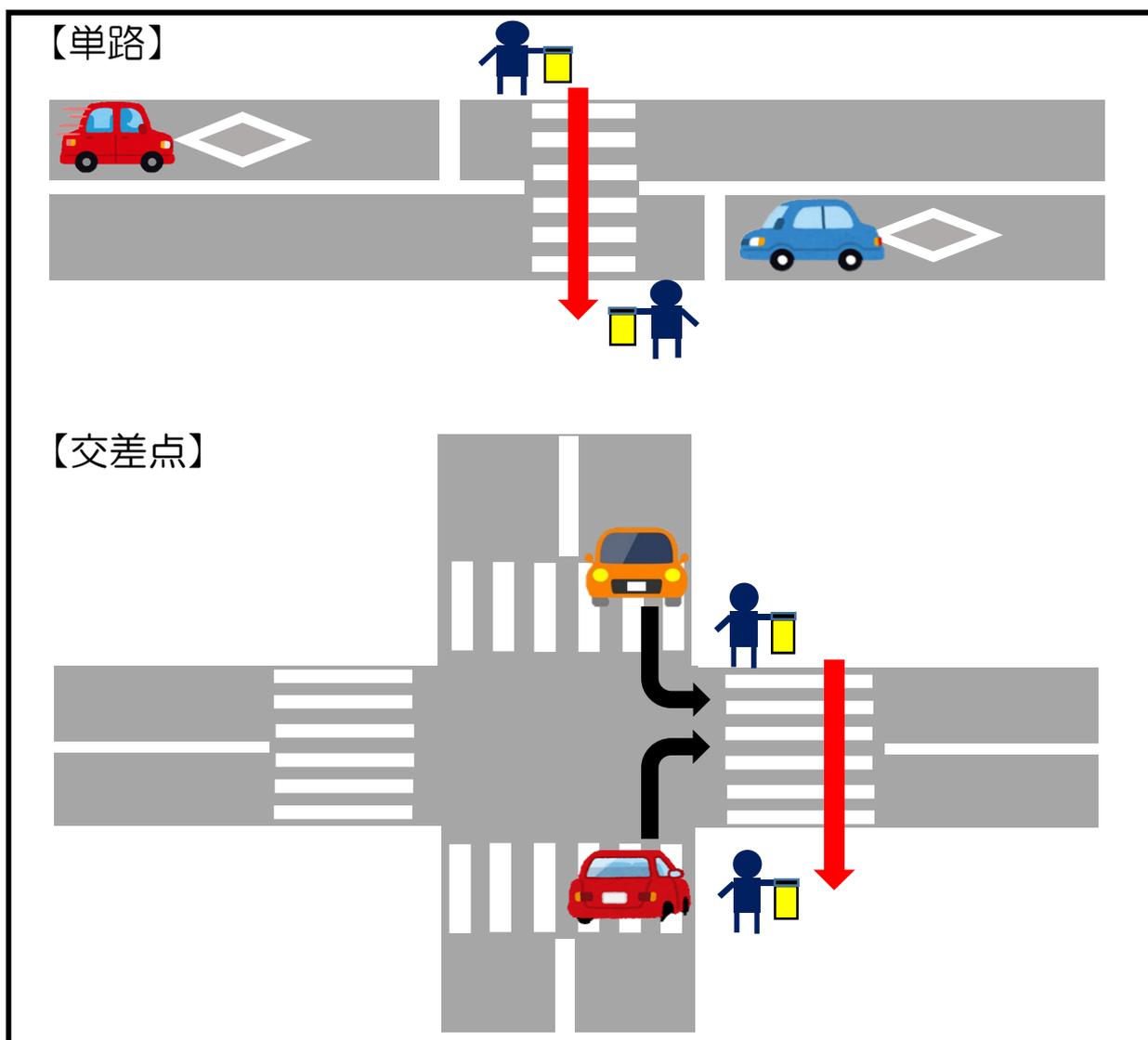
## 1. はじめに

日頃から、児童の登下校時の安全な通行のため、横断時の誘導にご協力いただき、誠にありがとうございます。

皆様の活動の参考に「登下校時の誘導の手引き」を作成しましたので児童と皆様の安全を守るために、ご活用ください。

## 2. 立つ位置

立つ位置は、道路環境によって異なりますが(図1)の示すところがよいでしょう。看板や電柱の陰は避け、自動車からよく見える場所に立ちましょう。ただし、車道には出ないようにしましょう。



【図1】

### 3. 横断旗の使い方

少し下がって待ってね

#### (1) 児童を待たせるとき

旗を地面と水平に持ち、児童が横断したり飛び出したり出来ないようにしておきます(図2)。

また歩道のギリギリの所で待っていたら「少し下がって待ってね」などと声をかけてください。



【図2】

#### (2) 自動車に止まってもらうとき

児童が集まったら、左右の安全を確認し、旗を急には出さず、運転者によく見えるように高く上げ、自動車に注意を促します(図3)。

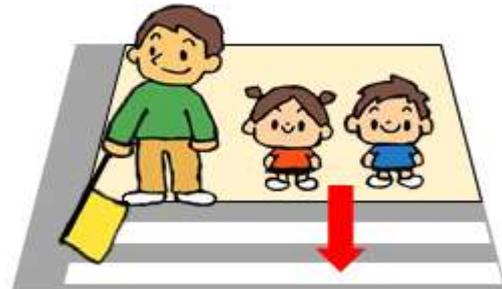
児童が前に出ないように、片手は横に出します。この時、自動車を無理に止めることは危険です。



【図3】

#### (3) 児童を横断させるとき

自動車が完全に止まったら、左右の安全をもう一度確認後、旗を横断歩道に水平に出し児童を誘導します(図4)。この時、止まっている自動車の脇を通り抜けてくるバイクや自転車にも注意しましょう。



【図4】

#### (4) 児童が横断し終わったら

児童が向かい側の歩道に渡り切ったのを確認したら、左手で横断歩道をふさぎ、後からくる児童を止め、旗を戻します(図5)。



【図5】

#### (5) 感謝の気持ち

最後に運転手さんに対してお辞儀をして、協力に感謝しましょう(図6)。

マナーと思いやりと感謝の気持ちをこども達が学ぶ良い機会です。



【図6】

## 4. 注意すること



### (1) あわてず、大きく、はっきりと

児童の横断中に自動車が並んでしまったり、横断を止めているときに児童がたまってしまっても、あわてずに行動しましょう。児童の安全が第一です。

また、あいまいな動作はかえって危険です。わかりやすく、大きく、はっきりと、早めに行いましょう。

### (2) タイミングを合わせて

誘導を二人一組で行う場合は、児童が待っている側が主導権を持ち、旗を動かすときは声で合図するなどしてタイミングを合わせましょう。

### (3) 自分の身も守る

車道には出ないことが原則です。やむを得ず出る場合は、止まっている自動車の脇を通り抜けてくるバイク、自転車に十分注意しましょう。

また、目立つ色の服装や、反射材を活用し、靴は動きやすいものがよいでしょう。雨のときは傘ではなく、レインコートを着用しましょう。

### (4) 信号に従う



信号のある横断歩道では信号に従ってください。

青の点滅信号（黄色信号）で児童を横断させてはいけません。児童が横断し終わったら、すみやかに旗をもどします。

### (5) 自動車に指示しない（大型車は止めない）

横断旗には自動車を止める強制力はありません。運転手に発進の指示をすることもやめましょう。また大型車を止めてしまうと、後ろの車の運転手が前方を確認できずに衝突したり、横断中の児童に気がつかずに大型車を追い越して事故につながる可能性があります。

### (6) 感謝の気持ちを持つ

朝の出勤時間は運転手にとっても貴重な時間です。協力をしてくれた運転手に対しては、会釈するなどの感謝の気持ちを伝えましょう。

お問い合わせ…【配布】→教育保育課 ☎759-9424  
(学校安全協力員)

【内容】→川西警察署 ☎755-0110  
→交通政策課 ☎740-1184